

逗子の景観まちづくり

瓦版 第七号

平成二十五年三月十一日

発行 景観フォトコンテスト実行委員会

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の逗子の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「何気ない風景が景観に」

「幕末日本に、大君の都を訪れたオールコックという英国人が、初めて日本の各地の住居や農家の庭先、街道や道端などを訪れた時、整然と履き清められ、樹木や自然との調和が何と美しいことと驚嘆した。」という日本滞在記を読んだことがある。

私の住む桜山の路地裏を歩くと、いつも庭先と自宅前の道路や地蔵尊の周りを清掃しているご婦人を見かけることがよくある。ある家では植木職人が定期的に庭の樹木の手入れをしている姿を見かける。

桜山地区では年二回、自治会が中心となり草刈り清掃を多数の地域住民参加で実施している。竹林や栗の林、氏子神社と湧水のある小さな丘、雑木林、道路、河川などの雑草を刈り、落ち葉、ごみなどを取り除き清掃を実施する。

そのあとに歩くと普段見慣れた生活の風景がとても美しい景色として眼に映るのである。

多数の住民が集まり協力して実施することにより効率的に、短時間で済み、この地域の何気ない風景が景観として保持される。

景観というものは、史跡や神社仏閣などでなく、何気ない普段の風景でも手入れと清掃で維持することで生活の中の美しい景観になるのではないかと思う。

文・絵 藤枝 博

「桜山番合谷戸の竹林」



「桜山番合谷戸の風景」



逗子文化の会

逗子の景観まちづくり『瓦版』を発行するのにあたり、多大な協力をしてくださっている「NPO 法人 逗子の文化をつなぎ広め深める会」の紹介です。

「逗子文化」を 遺伝子として 紡ぎたい。

「文化は、人と風土と歴史により育まれます。このまちに暮らす人びとが、互いに認めあい、楽しみあい、刺激しあい、深めあう。そんな市民の多様な活動、交流と連携の中から、逗子らしい文化が育ち、逗子のまちがもっと元気になることを、そして遺伝子として次世代へつなげていくことを、私たちは目指していきます。」



旧勝村邸 永

「逗子文化」と 地域価値の向上のために、 ご一緒しませんか。

「逗子の文化を語りあいましょう」
海と丘陵と川のある自然豊かな逗子。先人が、その資源を愛し、築き上げた多様な歴史的文化を、逗子を愛する多くの人々が、継承発展させています。

理事長 永橋 為成
専務理事 及川 洋一



長島孝一郎

NPO法人
逗子の文化をつなぎ広め深める会

入会のご案内
【会費】正会員・個人 3,000 円/年度 団体 5,000 円/年度
賛助会員・個人一口 5,000 円/年度 団体一口 10,000 円/年度
お問い合わせ事務局 田中尚武
090-6114-1748 hiisaataanaakaa@tbu.t-com.ne.jp



逗子ステキ発見！
景観フォトコンテスト
一期募集

1年を通して逗子の魅力を大募集
写真でまちのステキを共有しよう

締切迫る！

3月15日（金）必着

子どもフェスティバル

高校生以下を対象にした
夢 コラボ企画！

アンダー18 逗子ステキ発見！ 景観フォトコンテスト

大好きな風景をどう映しよう